



# 大浦の空

## 本年度テーマ「絆づくりと確かな学力」

長崎市立大浦中学校  
学校便り NO. 7  
令和3年9月1日発行  
文責：校長 竹市保男

### キャッチフレーズ：「絆づくりは、明るく元気で大きなワンストップ挨拶から」

**本日は始業式！！ 2学期が始まりました。 校長より**

今年の夏休みを振り返ってみて良かったことは・・・、

①女子バドミントン部団体チーム及び個人ダブルス（大石・横尾ペア）が、8月3日～5日に佐賀県で開催された九州大会に出場したこと。

②事件・事故、トラブルに巻き込まれたり、大雨での被害が無かったこと。

③部活動や駅伝練習等による救急車搬送やコロナ感染者がゼロだったことです。

さて、今日から2学期が始まります。皆さんにとって「試練（挑戦）」の学期といっても過言ではないでしょう。そこで、まず、やらなければならないことは、「健康管理」と「感染予防」です。新型コロナ感染防止への意識を高め、感染しないための行動をとることです。

例えば・・・、

①毎日の検温（登校前に自宅で検温し、健康観察記録表に記入後、登校時に持参すること。）

②自宅での検温を忘れたら、職員室で検温してもらいましょう。（直接教室に行かないこと。）

③生徒玄関ではアルコールで手指消毒します！教室に入る前は石鹸で手洗いをしましょう！

④マスクは常時つけること。（不織布マスクの方が、布、ウレタン製よりも効果が大きい。）

⑤教室は、常時、換気をしましょう。（常に、窓を開けましょう。）

⑥近距離での会話を極力しない。集団での活動を控えましょう。（ソーシャルディスタンス）

⑦少しでも体調に異変がある人は、自宅で休養をすること。（登校しないでくださいね）

■■ここで・・・、絶対にあってはならないこと！！■■

コロナ感染者や濃厚接触者に対して、差別や偏見、誹謗中傷等を・・・絶対に、絶対にしてはいけません。（誰もが感染する可能性があることを自覚しましょう！）

2学期は・・・、多くの行事があり、そして進路決定の時期でもあります。人間関係や進路等で「悩んだり、辛くなったり」することも沢山あるかもしれませんね・・・。

そんな時は・・・3つの事を、実行し、乗り越えましょう！！

① 心が苦しくなったら、一人で抱え込まず、早めに誰かに相談しましょう。

② 「苦しさは、いつまでも続くものではない。」と思い、気持ちを切り替えましょう。

③ 苦しんでいる人、悩んでいる人がいたら、積極的に声をかけてあげましょう。

### 女子バドミントン部のみなさん…九州中学校バドミントン競技大会(8月3日～5日開催)出場おめでとう！！

#### 【大会結果】

団体戦 1回戦 惜敗 対 大分県：三隈中

個人戦（大石・横尾） 1回戦 勝 対 沖縄県：糸満中

2回戦 惜敗 対 熊本県：大津中

長崎県の代表として、九州中学校体育大会バドミントン競技大会（佐賀県）に出場し頑張ってきました。皆さん・・・よく頑張りました！

### 九州中学校バドミントン競技大会出場に際し、餞別をいただきました！！ありがとうございました！！

本校女子バドミントン部の九州大会出場に際し、多くの方々から餞別をいただきました。改めて御礼申し上げます。また、大切にに使わせていただきました。ありがとうございました！！

佐古地区連合自治会（山口広助）様、

山本耕三（大浦中同窓会事務局長）様、

坂上（中新町）様、

稲田純子（仁田地区民生委員副会長）様、

仁田佐古PTA（田代会長）様

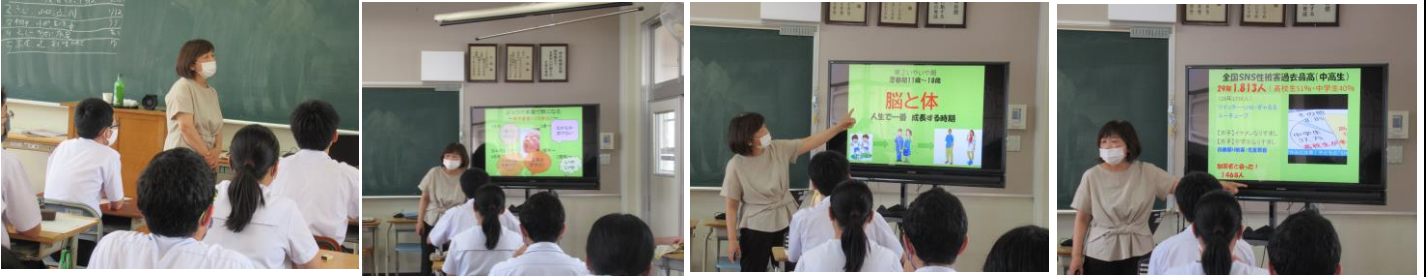
大浦中学校同窓会（平山会長）様

平田けいこ（中新町東部）様

近藤 徳朗（大浦中OB）様

## 性についての講話(3年生対象)

講師:吉松真理子 氏 7月16日(金)



子育て支援センター運営、NPOおなかの赤ちゃんヘルプライン理事、元長崎市教育委員の吉松真理子氏をお迎えし、「命の大切さ」「命は奇跡・・・」について、お話をいただきました。話は、①いじめについて、②スマホの正しい使い方について(ゲーム・ネット依存→依存傾向セルフチェック→長崎市の中学生は11人に8人がゲーム依存障害とのこと:松元リカバリークリニック調べ)、③SNSによる被害(性被害者2082人:R元年度警視庁調べ、長崎県内の事件に巻き込まれた被害者数77人:H27年~R元年度)、④あなたを命がけて産み、育てたお母さんの思い・・・、命は奇跡等、まさに現代を生きる子どもたちにとってタイムリーな話を思いを込めて話していただきました。ありがとうございました。

先祖から大切に受け継がれてきた尊い命を再認識するとともに、命がけて産み、育ててくれたお母さんお父さんをはじめ、家族に感謝する機会になってくれたらと思います。

## 8月9日は県民祈りの日。大浦中学校で平和集会を実施しました！！

第二次世界大戦で、アメリカ軍が長崎市に原子爆弾を一発投下しました。昭和20年(1945年)8月9日11時2分の出来事でした。結果、死没者が約7万4千人(当時の長崎市の人口は、推定24万人であることを考えると・・・約1/3弱の方々の方が亡くなられたこととなります。建物については、約36%が全焼・全半壊の被害を受けたと言われています。これを契機に、長崎市は被爆都市長崎として、①「戦争のおろかさ」、②「平和の大切さ」を「世界に発信」し続けています。

本校においても、「犠牲者の慰霊」と「被爆の継承」のために、大浦中学校平和実行委員会が中心となって「平和集会」を実施し、各学年のこれまでの取組を発表し合いました。その後、教室に戻り、黙とう、平和標語の発表、平和宣言文採択をし、平和集会を閉じました。

ここで、大浦中学校平和宣言文の一部を紹介します。【大浦中学校平和宣言】

私たちは、これまで原爆についてたくさんのお話を学んできました。その中で被爆者の生の声を聞いています。しかし、現在被爆者の方からお話を聞けるのは、私たちの世代で最後かもしれません。だからこそ今、戦争のことをしっかり勉強し、被爆者の思いを受け継いでいくことが大切だと思います。誰もが安全に安心して暮らせる場所にするために、まずは学校生活で次の三つについて努力していくことをここに宣言します。

- ・「仲間を傷つけるような言葉や暴力をなくし、一人ひとりが思いやりのある行動をします。」
- ・「一人ひとりが平和について深く考え、私たちから発信していきます。」
- ・「平和を尊重し、自分たちが次の世代へと引き継ぐことを誓います。」

## 令和3年度新学習指導要領の改訂により、通知表の観点項目が三つになりました。

R3年4月20日付け「令和3年度新学習指導要領による学習観点項目の変更について(お知らせ)」文書にてお知らせした通り、中学校では令和3年度から新学習指導要領がスタートしました。この新しい「学習指導要領」は、小学校で令和2年度から実施、中学校は令和3年度から実施、高校においては令和4年度から実施となり、10年ごとに改訂が行われています。

子どもたちが「将来の予測が難しい社会の中でも、未来をつくり出して行くために必要な資質・能力を確実に育むことができるように」という目的のもとに示されたものです。

観点別学習状況評価の観点は、小・中・高等学校の各教科等を通じ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到に整理されています。

昨年度と違う表記になっておりますので、再度確認のためお伝えいたしました。どうぞよろしくお願いたします。

